

拝観要項 瑞巖寺・拝観料金一覧

平成の大修理期間中は、中門、御成門、回廊が非公開となり拝観に制限がございます。

	個人	団体(30名以上)	団体(100名以上)
大人(大学・各種校 高校含む)	700円	650円	600円
小人(中学・小学校)	400円	350円	300円

※修学旅行に限り30名未満でも団体料金(先生同額)にさせていただきます。但し、窓口での一括精算の場合のみとなります。

障がい者割引 手帳提示の場合のみ

大人 300円 小人 100円

- クーポンでの対応はしていません。
- 一種障がい者については、介護者1名も割引となります。
- 施設団体については、事前に減免の申請をお願い致します。
- 車イスでの拝観可能場所は宝物館のみとなります。
- 宝物館内に車イスと車イス用のトイレがあります。

拝観時間 受付終了時間

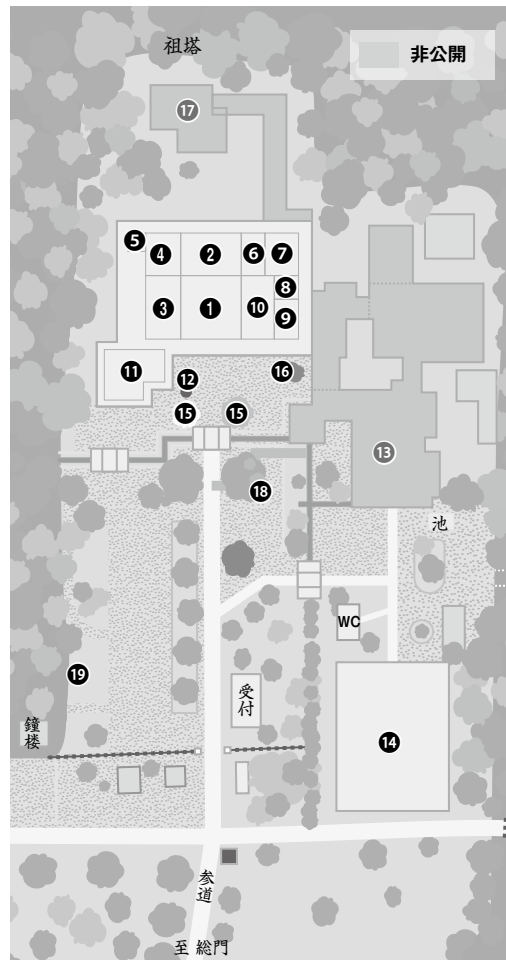
- 4～9月 ……………午後5時
- 10・3月 ……………午後4時30分
- 11・2月 ……………午後4時
- 12～1月 ……………午後3時30分

- 開門時間は通年午前8時です。
- 受付終了時間後15分で閉門となります。
- 拝観所要時間は40分です。

クーポン取扱業者

JTB	knt(近ツー)
日本旅行	クラブツーリズム
東武トップツアーズ	JR各社
農協観光	名鉄観光
読売旅行	タピックスジャパン
全旅	福島交通観光
宮城交通	

※案内ガイドについては、松島観光ガイド
TEL (022)354-3218にお問い合わせ下さい。



瑞巖寺 境内案内

- 1 室中孔雀の間
- 2 仏間
- 3 文王の間
- 4 上段の間
- 5 上々段の間
- 6 羅漢の間
- 7 墨絵の間
- 8 菊の間
- 9 松の間
- 10 鷹の間
- 11 御成玄閤
- 12 南蛮鉄灯籠
- 13 庫裡及び回廊
- 14 青龍殿(宝物館)
- 15 臥龍梅
(紅白梅～花期4月中)
- 16 五葉松
- 17 埋木書院
- 18 石斛
(花期5月末～6月初)
- 19 法身窟

年中行事

※毎月8日・24日・26日は開山和尚、藩祖公、先住職の月忌法要をしております。

4月8日	ごうなん え 降誕会	10月5日	だる ま き 達磨忌
8月16日	おせがき え 大施餓鬼会	12月8日	しどう え 成道会
8月20日	ごだいどうれいはい 五大堂例祭	12月31日	じよや かね 除夜の鐘

写経会 毎週木曜日(午前10:00～11:00 午後2:00～3:00)
【個人対象】 ※寺行事の都合により休みになる場合があります

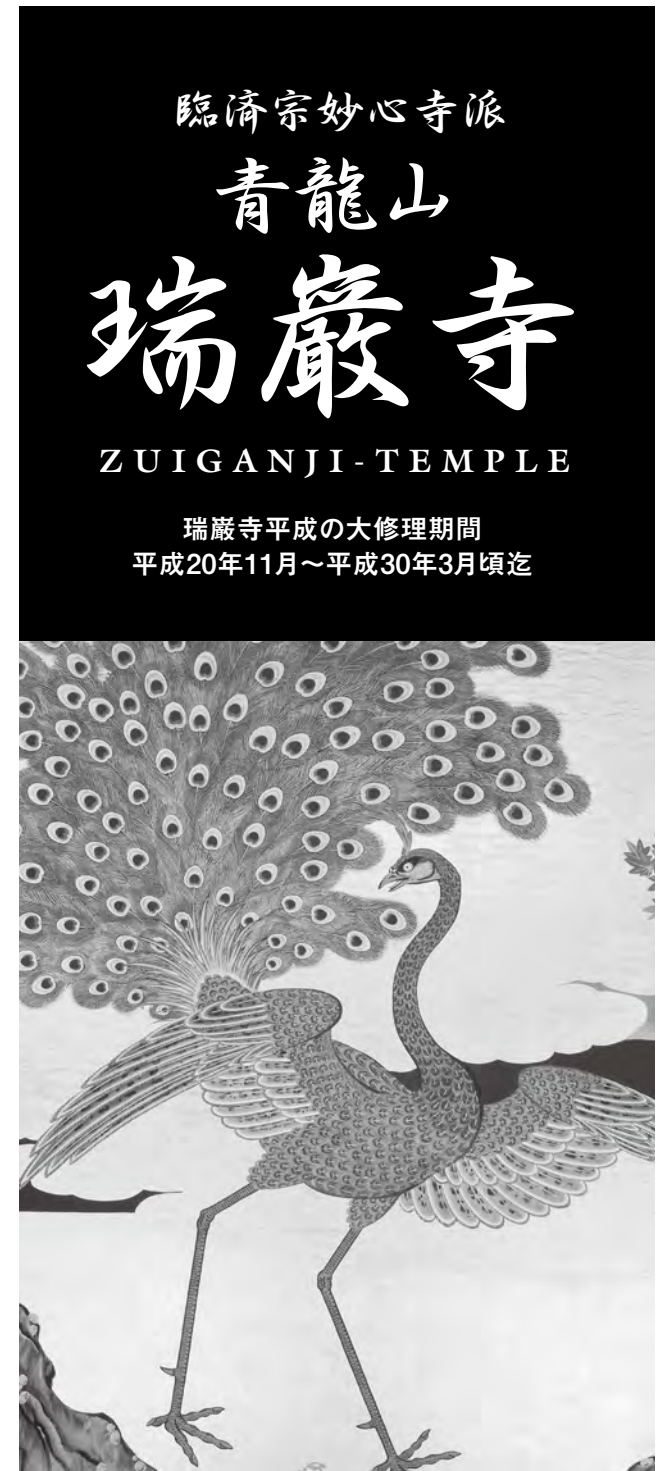
臨済宗妙心寺派 青龍山 瑞巖寺

〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字町内91番地
TEL(022)354-2023 FAX(022)354-5145

ホームページ www.zuiganji.or.jp/

瑞巖寺

検索



臨濟宗妙心寺派

青龍山

瑞巖寺

「松島青龍山瑞巖円福禪寺」即ち瑞巖寺は臨濟宗妙心寺派の禪寺である。

平安時代の初め天長5(828)年、慈覚大師円仁により開創され、天台宗延福寺と称した寺がその前身であると伝える。

鎌倉時代中期の13世紀半ば、執権北条時頼公が法身性西和尚(俗名真壁平四郎)を開山とし、円福寺と改称、臨濟宗建長寺派の禪寺に改めた。

円福寺は鎌倉幕府の庇護の下に栄え、室町時代も五山十刹制度の諸山のち十刹に位置づけられ、末寺を作り発展した。しかし、戦国時代を経て寺勢は衰え、その末期に妙心寺派に属した。

江戸時代の初めに、仙台六十二万石の祖となった伊達政宗公が、師傅虎哉禪師のすすめにより歴史あるこの名刹を復興し現在の大伽藍を完成させた。

工事は慶長9(1604)年に始まり、桧・杉・櫟の良材を熊野に求め、京都・根来の名工を集め、5年の歳月をかけ完成した。本堂御成玄関、庫裡回廊は国宝に、御成門、及び中門、さらには障壁画が国重要文化財に指定されている。

寛永13(1636)年、政宗公の遺言で来松した名僧雲居禪師(1582~1659)の努力で、名実ともに奥羽に冠する大禪刹となり、周辺に円通院、陽徳院、天麟院などが造営され、江戸時代中期には30余の寺街が形成された。

芭蕉によって「金壁荘巖光を輝し」と謳われた障壁画も、360年の歳月を経て劣化が著しく、昭和60(1985)年から10年間にわたり211面の障壁画群の保存修理と模写事業が行われた。

平成20(2008)年から平成30(2018)年春まで、国宝瑞巖寺平成の大修理(国宝瑞巖寺本堂ほか七棟建造物保存修理事業)が行われ、安土桃山文化を伝える建築・美術の精華である創建当初の姿となる。



瑞巖寺本堂 ZUIGANJI HONDO 国宝

瑞巖寺本堂は南東に面し、南西端に御成玄関が、南東端に庫裡(庫裏)に続く回廊が接続する。大きさ正面38m、奥行24m。入母屋造りの本瓦葺きで10の部屋がある。慶長9年から5年の歳月をかけ、同14(1609)年完成。桧・杉・櫟は熊野から運ばれ、京都・根来の大工衆が技を競った。昭和28年国宝指定。



庫裡(庫裏) KURI 国宝

禅宗寺院の台所。正面13.8m、奥行23.6m。大屋根の上にさらに煙出しが載っている。本来実用本位の建物に唐草や花肘木の彫刻が施されたことに、政宗公の美意識が窺える。昭和34年国宝指定。

宝物館 HOMOTSUKAN (SEIRYUDEN) (青龍殿)



国指定重要文化財本堂障壁画、伊達家歴代藩主画像、書跡、茶碗、歴代住職頂相、墨跡、日本三景のひとつ「松島」に関する絵画や書、及び発掘調査で出土した中世円福寺関係資料など約3万点余りを所蔵。常設と特別展示室とで、季節・テーマにより展示を行っている。

主な収蔵品 ◎国指定重要文化財 ※宮城県指定文化財

- ◎本堂障壁画211面(江戸)
- ※法身・大覚・明極頂相(鎌倉~室町)
- ※伊達政宗甲冑倚像(1652)
- ※大脇差(1655)
- 歴代藩主画像(初代政宗~12代斉邦 江戸)
- その他多数展示品



舍利・水晶舍利容器

源頼朝が生前信仰していた仏舎利を、夫人北条政子が当時高名だった松島の見仏上人に寄進し亡夫の菩提を弔わせた。



大脇差 [宮城県指定文化財]

明暦元(1655)年政宗公20回忌にあたり、二代忠宗公が江戸在住の富田大和守安定を招いて鍛刀させたもの。拵一式・袋・箱が付属する。

伊達政宗甲冑倚像 [宮城県指定文化財]

政宗公17回忌にあたり、正室陽徳院が夫君の往時を偲んで制作させたもので、公27歳、文禄2年朝鮮出兵時の勇姿という。六十二間筋冑を被り、鉄黒漆五枚胴具足を纏った姿で、政宗公の遺言により両眼が備わっている。



※常に展示しているものではない場合がございます。